

中間テストが終わったかと思ったら、3年生は先週実力テストが実施された。そして今週からは、期末テストの週間に入る。勉強週間であるが、勉強も習慣になるとよい▼アンケートを取れば、圧倒的に勉強が嫌いと答える子が多いだろう。しかし、勉強が好きと答える子もいる。嫌いじゃないけどめんどくさいと言う子もいる▼阿久津真矢先生は、勉強しないということを痛切に批判していた。彼女は、「勉強は立派な大人になるためにするのだ」と言い切った。私は、幸せになる準備だと始業式の日に話をした。そして、大切なのは、人間性、学力はあった方がいいと続けた▼伝えたいことは同じ。先生方は、学級だよりを通じて、子どもに訴えかける。訴えの方法は様々であるが、共通点が2つある。①勉強をあきらめさせないこと②最後はあなたが自分と闘わなければならない▼この2つの要素を様々な方法で訴え続ける。その訴えの裏には、テスト週間などはない。勉強は習慣なのだ、というメッセージが隠れている。もう一度阿久津真矢先生に戻る。真矢先生は、「好奇心を失った瞬間、人間は死んでも同然です」と言われた。ちょっときついが、キーワードは、好奇心▼先生方が取り組んでいるのは、子どもの好奇心（意欲）を引き出す授業。その手立てを、ギミックと呼んでいる。美味しいギミックバーガーを作って、子どもに食べさせる。